

あなたとJAをおすすめ情報誌

なかしべつ

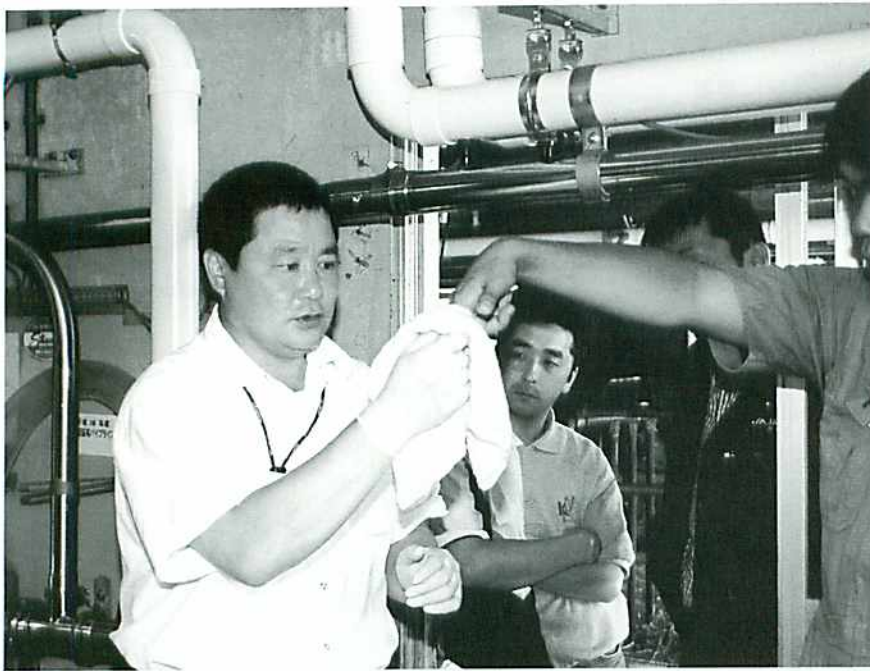
2002
10月
No.334

「中味を充実させて、ゆとりのある経営を目指したい」と安田正嗣さん。



JA中標津

乳質改善 セミナー



乳頭清拭について説明する菊地専技

九月五日、六日の両日、昨年に引き続き二回目の「JA中標津乳質改善セミナー」が開催されました。前回同様、講師にはウイリアムマイナー農業研究所・伊藤紘一氏、根釧農業試験場専門技術員・菊池実氏を招き、一日目は現地「南中・久保牧場、当幌・長正路牧場」バーンミーティング、二日目は寿宴においてセミナーを行いました。

9月5日 バーンミーティング編



牛の行動について熱弁する伊藤氏

乳牛の一日の行動を観察し、スタンション牛舎・フリーストール牛舎での簡易的な改造によるカウコンフォートの実現と、乳牛の各ステージ（哺育・育成・成牛）を飼養する中で、気を付けなければならないポイントの解説。また、搾乳施設においてはミルクングパーラー・パイプラインミルクカーのそれぞれ特性と機能の説明や、乳房炎の防除のために行わなければならない事項について解説していただきました。

牛の行動について考える

乳牛（成牛）の一日の行動を考えたとき採食・休息・反芻と大まかに三つに分けます。では、「それらの行動は何時間づつ、また何回行われているのか？」や、「どの行動を行うときに最初にくる共通動作は？」など簡単そうでなかなか難しい質問など、参加者の方々に考えてもらう場面も多くありました。

理想的な採食・約五時間、一回当た

り二十分～三十分、
十一回～十三回

理想的な休息・十二時間～十三時間、
起立や横臥は十二～

十三回繰り返します

理想的な反芻・九時間ぐらいが理想的、
休息と重なるの
が望ましい

共通の動作・寝起きの動作→自由に
行えることが大切です

ただ立ったままの牛や、寝たまま反芻のしない牛はいませんか？何が障害となって、それらの行動の妨げとなっている場合があります。

乳頭清拭について考える！

搾乳前、必ず乳頭清拭を行います。人によって、または牛の汚れ具合によって清拭スタイルは様々に変わります。しかし次回の搾乳からこれだけは共通させましょう。「乳頭は清潔なタオル・ペーパーで一本づつ三回ねじるようにして、たてに拭き、最後にそのタオルのきれいな部分で、乳頭口先端部分の汚れを丁寧に落としましょう」

乳頭が全体的に汚れる場合は、敷き料の管理からもう一度見直す事が大切です。

乳房全体を拭いたタオルで、乳頭清拭は汚れを逆に付ける場合があるのでやめましょう！

乳房炎をどうするつもりか？

9月6日 乳質改善セミナー編



平成14年度中標津町農業協同組合乳質改善七
乳房炎をどうするつもりか？ あなたの牛乳は、はたして高級食品か？



△乳房炎をどうするつもりか？をテーマに講演会が開催されました。

乳質は酪農家段階（生産から出荷まで）で決定され、そのレベルは出荷されると低下はあっても、良くなることは決してない（工場と同じレベルの衛生感覚をもった生乳生産を目指す）。また、体細胞数の示す牛のサインを観察することが、高品質乳の生産につながる。

体細胞数 二十万以上…乳房炎牛群（潜在性）
十〜二十万…グレーゾーンであり、どちらに転がるか分からない不安定な

状態
十万以下…乳質が安定され乳房炎が疑いのなし

但し、十万を維持するために、あまりにも多くの牛を治療・廃用・廃棄するのでは利益につながりません。あくまでも、どの牛が乳房炎かを把握するための管理方法として考えてゆく（その乳房炎はどんな性質を持っているか知ることも重要）。

乳房炎が発症してから軟膏で治療してゆくだけでは、根本的な解決にならない。雑草の頭を刈るようなものであり、刈っても刈っても生えてくる様な「後追い」的な考えではなく、根本的な感染源を断つことが、乳房炎防除の最大の課題であること。もちろんこれは、相当な努力と根気が必要で、決意をもって搾乳者（家族やスタッフ）全員が一丸となって取り組む事が大切です（全ての人が共通のゴール「高品質乳生産」に向かい仕事をすること）。

牛と環境の清潔さ（除糞や飼養環境整備）・正しい搾乳方法（泌乳理論に基づいた搾乳）・搾乳機器のメンテナンス（全てが正常に動作しているか？）などの、すべてが融合さ



れ高品質乳の生産につながってゆく。全ての作業が生乳生産につながるような、合理的な考えをもった作業をすること。

今回のセミナーを終え、乳牛のノウハウを学ぶための施設の説明、哺育・育成時の飼養管理、搾乳手順の再確認、搾乳機器の正しい使い方など、説明をしていただき、ぜひ自分の施設・搾乳方法などをも一度見直してみようと言う意見が数多く聞け、大変良いものとなりました。

最後になりますが、二番草の収穫の時期に重なり大変お忙しい中、バーンミーティングの会場となる施設を貸していただいた久保牧場様、長正路牧場様、またセミナー開催に当たりご協力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。

今年も高い入賞率で、 乳牛のレベルの高さをアピール!



九月六日(金)から八日(日)までの三日間にわたり、音更町十勝農協連家畜共進会場において、第十三回北海道総合畜産共進会(乳用牛・肉用牛・馬・同時開催)が開催されました。
道外からの出場を含め三百八十頭の乳牛により優劣が競われ、審査員には高橋邦博氏(北海道ホルスタイン農協)があたり、適正かつ円滑にその審査がとりおこなわれました。

当農協からは七戸十二頭の出場となり、そのうち二等賞以上への入賞率は七五割と高い成績をおさめました。

第13回北海道総合共進会(乳用牛の部)中標津町農協出品成績

部	生年月日	名	号	出品者	入賞結果
2	H13.09.09	エクセルシア	リーダー シャノン	久保 剛	2等1席
3	H13.07.16	アースイースト	デュール レデューク	佐々木昭雄	
4	H13.04.01	ハッピーイースト	ホワイトローズ ローザ	福村 稔	1等4席
5	H13.02.02	アースイースト	スターバック レデューク	佐々木昭雄	1等6席
5	H12.12.09	センターリバー	バーク レインシー マーカー	中川 将	2等7席
6	H12.09.14	ハッピーランド	ソーニマ デルモア クリスタン	福嶋 信博	2等8席
7	H12.03.31	アースイースト	ミソノ ジェニフアー	佐々木昭雄	2等9席
8	H12.01.09	アースイースト	シヨーマー ミレニアム	佐々木昭雄	2等1席
9	H11.08.01	ハッピーウッド	ラス エース リーダー	福嶋 寿顕	2等5席
9	H11.06.28	アースイースト	マテイ エアロ フラワー ET	佐々木宏之	
10	H11.01.09	サニーデール	エアロスター ジェー	弾正原 正	
12	H 9.01.04	アースイースト	アスター ネット ゴールド	佐々木昭雄	2等5席

シニアチャンピオン コムリー スカイチーフ ユマーナ号

出品者 帯広市 (株)十勝ライブストックマネージメント

インターメディアイトチャンピオン ハーバービュー ロイヤル リンディ号

出品者 枝幸町 寺前 末吉氏

ジュニアチャンピオン カラミティー ウオー イン オアー号

出品者 大樹町 金曾 浩文氏

第13回
北海道総合畜産共進会

「空胎期間について」 第4回

秋も深まり紅葉の季節がもうそこまで来ています。今年は悪天候に悩まされましたが、それぞれの秋を楽しめれば良いなと思っております。

さて、これまで発情発見、暑熱問題などの様々な繁殖管理について書いてきましたが、今回は繁殖成績、繁殖管理を語る上で欠かせない空胎期間について書いていきたいと思えます。

乳牛はお産をすることで牛乳を出す。しかし、乳量は泌乳ピークを過ぎると減少していく。そのため、安定した乳量を確保するために次の授精に移り：というのが、一般的な繁殖のサイクルだと思います。このサイクルがうまく回ってれば、安定した乳量の生産だけでなく、牛群の遺伝的な改良も進んでいくはずで。そこでこのサイクルをうまく回すのに気になるのが、初回授精日数です。どこの牧場でも平均七十〜八十日程度で、初回授精を行っているはずですが、なかには発情を見せない、発情の見逃しなどで大幅に遅れている牛が、何頭かいるのも事実ですよね？数頭ならまだしも、そのような牛がたくさんいるという事は、大変もったいないことなのです！というわけで、空胎期間を減らすのは、具体的にどのようにはしていけばいいのでしょうか…？

一、繁殖カレンダーを活用して牛群

をこまめにチェックしましょう！
二、産後日数が六十日過ぎても兆候を見せない牛は要注意！何らかの繁殖障害の可能性もあるので、我々授精師や獣医さんに診てもらいましょう！

三、リピートブリーダー様だと感じたら、すみやかに獣医さんか我々に相談。繁殖に待ちの姿勢は厳禁です。

四、受胎確認はしっかりと！とまっているはず…？の考えはいけません！

このように、特に難しいことをするわけでもなく、ちょっとしたことで空胎期間は簡単に減らすことが出来るのです。空胎期間を減らすことは、直接的に経済利益につながります。実際、分娩間隔遅延（全道平均約四百十日）による損失は、一頭が一日伸びる事で年間約一千二百円といわれています。もし仮に牛群頭数が七十頭の酪農家ではどうなるかという…？

一千二百(円)×七十(頭)＝八万四千円の損失(一日あたり)

これが発情を一回見逃すとしたら、そのぶん分娩が遅れて約二十日間は搾乳開始も遅れるということになる

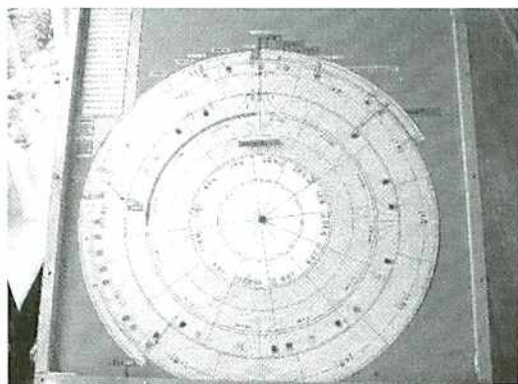
ので、上記の酪農家に当てはめると…？

一千二百(円)×二十(日)＝二万四千円の損失(一発情周期あたり)

*仮に十頭発情を見逃した場合：
二万四千(円)×十(頭)＝二十四万円の損失(一発情周期あたり)

このようなことから空胎期間の短縮が、経営改善の大きな課題だと言いう事がお解りいただけだと思います。というわけで、これからは守りではなく、攻めの姿勢で空胎期間短縮に立ち向かっていきましょう！

〔家畜改良課より〕



畜農技術

乳検データを見る3つのコツ

北根室地区農業改良普及センター

乳検データには、牛群の飼養管理に関する情報が数多く記載されています。牛群検定成績表の「検定日乳量階層表」をチェックし、現在の飼養管理の問題点を見つけて出す3つの方法について紹介します。

一、乳量階層のチェック
 (一)泌乳曲線(図一)
 乳量階層表に「乳量曲線」を描く。
 ①乳量のピークが明確か
 ↓ピークが不明瞭

- ・ 乾乳後期の管理ミス
- ・ 分娩前コンディションの不適
- ・ 泌乳初期の栄養給与の失敗

図1 泌乳曲線のチェック～ピークは？持続性は？

①ピークが、不明瞭。持続性の悪い事例

検定日乳量階層	頭数	1産					2産以上				
		49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上	49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上
50以上											
40											
35											
30											
25	13										
20	14	1									
10	9		1								
9.9以下						2					
平均乳量		20	22.2	21.5	18.8	16.2	24.5	26	28.3	23.4	21.6

②ピークが、明確。持続性の良い事例

検定日乳量階層	頭数	1産					2産以上				
		49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上	49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上
50以上											
40	1										
35	4										
30	11										
25	13										
20	14										
10	9										
9.9以下											
平均乳量		24.5	22.2	26.7	18.8	16.2	33.2	34.5	28.3	23.4	21.6

表1 飛び出し乳量の算出

$$\text{※ 飛び出し乳量} = \frac{(\text{初産49日以下の平均乳量} \times \text{頭数}) + 2 \text{産以上の49日以下の平均乳量} \times \text{頭数}}{49日以下の総頭数}$$

※ 事例の飛び出し乳量

$$\{(23.3 \times 5) + (31.5 \times 4)\} \div (5+4) = 242.5 \div 9 = 27 \text{ kg}$$

初産牛の目安	2.5 kg以上
経産牛の目安	3.0 kg以上

表2 乳成分のチェック～異常値はどれ？

検定日乳量階層	頭数	1産					2産以上					対策
		49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上	49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上	
乳脂%		4.30	3.60	3.88	4.05	4.50	3.82	3.77	3.85	3.67	4.46	搾乳100日以内の牛群の蛋白率が低い。
蛋白%		3.00	2.60	3.09	3.33	3.60	2.99	2.92	3.09	3.34	3.29	

表3 体細胞のチェック～いつ高くなる？

検定日乳量階層	頭数	1産					2産以上					対策
		49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上	49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上	
体細胞数(万)		7	5	5	8	76	2	13	23	17	44	泌乳後期に乳房炎の発生が多い。過搾乳の可能性あり。
リニアスコア		2	1.6	1.7	2.4	5	0.5	1.8	2.5	3.7	4	

検定日乳量階層	頭数	1産					2産以上					対策
		49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上	49日以下	50日～100日	100日～200日	200日～300日	300日以上	
体細胞数(万)		42	9	31	17	18	31	23	7	48	39	全乳期をとおして、乳房炎の発生が多い。乾乳期治療や搾乳中の衛生管理の見直しが必要。
リニアスコア		5	2.5	3.5	3.1	3.5	4.1	3.1	2.5	4.6	4.5	

①乳脂率三・五割以下をチェック
 二、乳成分のチェック(表二)

・ 飛び出し乳量は順調だが、ピーク乳量が低い
 ・ 分娩直後(産褥期以降)の飼養管理に問題あり
 ・ 育成牛の飼養管理(初産の場合)
 ・ 乾乳後期の管理に問題あり

②ピーク後の乳量の持続性
 ↓持続性が悪い
 ・ 栄養不足(エサの絶対量不足)
 ・ 乾物摂取量の不足
 (二)飛び出し乳量の算出(表一)
 四十九日以下の平均乳量と頭数から飛び出し乳量を求めます。飛び出し乳量とは、分娩から概ね五日目前後の乳量のことです。この飛び出し乳量が、その後のピーク乳量・一乳期の産乳量に大きな影響を与えます。飛び出し乳量の三割の差は、一乳期の産乳量としてほぼ一割の差となります。
 ↓飛び出し乳量が低い
 ・ 乾乳後期の管理に問題あり
 ・ 育成牛の飼養管理(初産の場合)
 ・ 飛び出し乳量は順調だが、ピーク乳量が低い

↓乳脂率が低い
 エネルギー・繊維(NDF)不足
 ②蛋白率三・〇割以下をチェック
 ↓四十九日以下で、乳脂率が高く、乳蛋白率が低い
 ・ 乾乳期の管理に問題
 ・ エネルギー・蛋白不足
 ・ 体脂肪動員により急激にやせている(BCSの急激な減少)
 ・ 泌乳初期の栄養管理
 三、体細胞数のチェック(表三)
 体細胞数三十万/ml以上をチェック

①初産牛の四十九日以下で高い
 ・ 育成管理に問題あり
 ②二産以上の四十九日以下で高い
 ・ 乾乳牛の環境が悪い、乾乳期治療がうまくいっていない
 ・ 分娩前後の環境
 ③泌乳後期が高い
 ・ 過搾乳になっている可能性が高い
 ④全乳期が高い
 ・ 分娩前後の環境や泌乳後期の搾乳衛生など全般的な改善が必要

国際農業機械展・花畑牧場を視察



シヨッピングでは留守番家族に たくさんのおみやげ



中標津町農協農業後継者結婚対策協議会で行く「いっぶくの会」で企画した、帯広方面への視察研修が八月二十六日〜二十七日、開催されました。

参加者は、後継者のお嫁さん八人と子供五人で、農協バスで農協前を帯広へ向け出発。途中、池田ワイン

城にて昼食。期待を込めて注文したサーロインステーキに、ワインでのちよつとりツチな昼食でしたが、ス



ターキについては、「やっぱり中標津ビーフのほうが美味しいかな」との印象でした。

池田をあとに、視察地の第三十回国際農業機械展イン帯広に到着。この展示会は、十勝地区組合長会、ホクレン、北農工、十勝農業機械協議会が主催し、今回は百一社が出展。農家ニーズをつかんだ大型機械、環境対応の畜産廃棄物処理・利用機械、精密農業対応機械など最新鋭機が約千機種展示されていました。視察時

間は約一時間二十分くらいでしたが、それぞれ自家の使用する機械メーカーへ足を運び視察研修をしていました。

農機具展をあとに次の目的地である、シヨッピングへ。約一時間ほどの買い物を終え、宿泊地のホテルバコに到着。午後六時から参加者全員揃っての夕食会。会席料理に舌鼓を打ち、飲み放題のアルコールも入り楽しい夕食会となりました。

翌日は、最後の研修地である花畑牧場へ。ここは、タレントである田中義剛氏の経営する観光牧場で、中札内村に造られ、この牧場で搾られた牛乳でチーズやアイスクリーム、ハム、ソーセージなどが販売されていました。また、馬車や乗馬をしたり、ドックショウ、ホースショウが行われています。ちよつど着いた時にドッグショウが開催中で見る事が出来ました。

花畑牧場を午後一時三十分に出発し、釧路経由で午後六時中標津へ戻って来ました。今回「いっぶくの会」での視察研修は初めての企画で、参加者も八人と少なく、子供を連れて来た方もおり、奥さん的には大変忙しい思いをした方もおりましたが、参加者それぞれ地区を越えた交流が出来、シヨッピングも家族に持ちきれないほどのおみやげを買い込み、楽しい思い出となる視察研修となりました。

愛嬌たっぷり！ 梨のように甘い？女の子



第二俣落地区 松本昌志・麻美さん夫妻 長女 梨花ちゃん(1歳)

■ ■ ■ わが家の 人気者

一日と秋の訪れを感じる今月の人気者は、第二俣落地区・松本昌志さん宅長女・梨花ちゃんです。

今月二十日に一歳のお誕生日を迎える梨花ちゃんのこの日は、お昼寝も済ませ、

超上気嫌の時間帯にお邪魔したようで、サービス精神旺盛に、笑顔でカメラに向かって愛嬌を振りまいてくれました。

普段の梨花ちゃんは、おもちゃで遊んだり、絵本を見ては読んでいるふりをして？声を出したり、天気の良い日は散歩がてら牛舎まで行き、おじいちゃん、おばあちゃんと遊んだりしているんだって。最近の梨花ちゃんといえば「パパ！、ママ！」と、言葉を覚えてきたりと成長過程を確認できることが多く、ママの麻美さんがいうには、寝る子は育つという通り、お尻が(笑)育ってきているし、床に落ちていた小さな小さなゴミや虫までも、指先でつかんでは口まで運んだりしちゃうんだって(笑)。それから、お家で飼っている犬や牛舎の牛も全然怖がることなく、普通に近寄っては触ろうとしたりと動物好きの一面も…。

そういえば、お邪魔したこの日、

もう少し大きくなったら遊べるようになるからと、ママがしまっておいたおもちゃごとセットで、なんとか遊びたくって仕方がなかったようで、一段と好奇心旺盛になって来ている梨花ちゃん。

そんな取材中、お出掛け中のパパが帰ってくると、満面の笑顔でお出迎えし、すぐさますり寄ってパパのそばにお座りしていましたよ。甘いっ子かな？



そこで、梨花ちゃんの将来についてパパ、ママに尋ねると、パパは「元気がいたらそれでいい！」に対してママは「優しい子になって欲しい」と、答えてくれました。

パパやママはもちろんのこと、おじいちゃん、おばあちゃんと家族中に温かく成長を見守られている梨花ちゃん。これからも、その持ち前の愛嬌をみんなに振りまいて、すくすくと大きくなってね！

しつかり仕事した後は、 きつちりメイクしてお出かけ!?

女性部フレッシュユミズ部会
「ロープ結び講習&メイクアップ教室」



永島係にコツを教わります



メイク講師の坂本円さん

九月九日、女性部フレッシュユミズ部会の「ロープ結び講習&メイクアップ教室」が開催されました。

午前中のロープ結び講習では、農協家畜清流センター・永島係に講師をお願いし、基本的なロープ結びについて応用編を交えながら教えていただき、ちよつとしたコツを覚え、参加者は満足気でした。

続いて午後からは、化粧品メーカー販売員の坂本円さんを講師に迎え、メイクアップ教室が開かれました。毎日仕事にかまけて?きちんとメイクすることがあまりない参加者達。坂本先生の「メイクは肌を隠すだけではなく、外気から保護し、また、精神安定剤のようなもの」と、いうお話を聞きながら、自前のメイク道具をフルに活用して、更に!?(笑)美しくなる方法をしっかりと勉強しておりました。



ピータン農園・柴田さんを囲んで

花づくし



「十勝の旅」

女性部宿泊研修旅行

好天に恵まれた九月十一日〜十三日まで、二泊三日の女性部宿泊研修旅行が行われました。今年も総会時にとった意向調査の中で、一番多かった「十勝方面花の旅」と決定し、中札内村・ピータン農園・花畑牧場、帯広市・紫竹ガーデン、真鍋庭園と彩りよく咲き乱れた花々を思う存分堪能いたしました。时期的には、根室管内は見頃もすっかり終わっていますが、さすが十勝は暖かく、秋の花が見頃といったところでした。

見学先の紫竹ガーデンは、昔から北海道の野に咲く花々が一万八千坪の敷地に咲き乱れ、また、真鍋庭園は、ブルースブルース(松)を中心とした木だけの庭園で、どちらも異国を思わせるようでした。更に中札内村・ピータン農園(柴田牧場)は、地元農協女性部員でもある柴田芳子さんが、世代交代で自分の時間が作れるようになった時点で、「少しでも心のゆとりと生きがいを持つてる生活を送りたい」と言うことから始めたという花づくりが、今では趣味が高じて一人で手がけているという農園内の花壇整備から、村内街道の花植え・花壇整備をボランティアで請負ったりと、その精神と出来映えは見事なもので、我が家の庭を少しでも花一杯!に近づけようと、参加者は行く先々でしっかりと目に焼き付けておりました。

帰りには、抱えきれないほどの土産などを運ぶ参加者の姿が見られ(お土産は余さずに配布できたのでしょうか?笑)、花づくし・旨いものづくしの二泊三日は、満足のいく笑顔の絶えない楽しい旅となりました。

「来年は、あなたも一緒に旅に出掛けませんか?」

第五次地域農業振興計画 策定審議委員会を設置

平成十四年度は地域農業振興計画の策定年度となっており、去る九月二十五日、各地区・組織より推薦をいただいた二十五人により、一回目の第五次中標津町農協地域農業振興計画策定委員会が開催されました。

前回の第四次計画（平成九年～十三年）につきましては、第五十五回通常総会議案でご報告しておりますように、ほぼ計画に沿った実績となりました。これはひとえに組合員皆さまのご理解と意欲の賜と心から敬意を表すところであります。

今回改めて第五次の計画策定にあたり、第四次計画から第五次計画へ引き継がれる課題もあると思われませんが、審議委員皆さまの英知を結集し取り組んでまいりたいと思えます。今後五年間、農業展望は依然として見通しにくい状況にありますが、組合員の意向とJAの使命感に添った計画を策定されるものと期待をしております。

なお、組合員の皆さまには策定に当たり意向など踏まえながらご意見を拝聴したいと存じますので、その節はよろしくご協力をお願い致します。

中標津町農協第五次地域農業振興
計画策定審議委員名簿

委員長 滝本 広
副委員長 遠藤 照一
酪農・肉牛部会

吉田 正行
飯島 浩
小川 征彦
齊藤 一美
武田 泉
横田 千秋
竹村 聡
大内 勝利
生活・環境・担い手部会

熊倉 和彦
金子 安一
児玉 光一
井上 芳行
相沢 進司
佐々木 大輔
鷺見 健
横田 純子
金子 ひろみ
畑作部会

山下 真二
工藤 賢司
国見 正則
安達 武
石橋 喜美夫
西崎 敬造
(順不同・敬称略)

一日と紅葉が進み冬に近づく今日この頃ですが、組合員皆さまにおかれましてはご清栄の事と推察申し上げます。今年是不順な天候と冷夏の繰り返しで、収穫作業・作物の作況含め、気をむむシーズンでありました。畑作農家にとりましてはダイコン生産が本格的に開始され、でん原馬鈴しょも二十三日より出荷スタートしました。作況調査で見ますと平年作か、やや良との事でありますが、今後の天候と出来秋に期待を寄せているところです。

繁忙期を迎え、作業事故・災害など起こらないよう家族共々十分に注意をいたさうと願います。生乳生産につきましては、計画三・五割増に対し、百五・五割伸びで推

近況報告

代表理事組合長 高橋 勝義
移しており、日々の飼養管理と苦労に改めて敬意を表します。

BSEに関しては、発生より一年を迎え、予想以上の牛肉消費により、価格も回復しつつあり、五頭目発生があったものの市場相場、消費者も冷静に反応しており、大きな混乱は起きていない状況にあります。今後の原因究明・説明は勿論のこと一日も早く清浄国となれるよう、国・道に働きかけをし、生産者の不安と新たな負担が生じぬよう対策を求めてまいり所存です。また、農協事業全般においては、今上半期を過ぎた所ではありますが、今

のところは概ね計画に沿って事業展開しております。

更に第五次地域農業振興計画策定年にあたり、過日二十五人の委員を委嘱し本格的議論をいただき、次期総会に組合員にお示しできるよう、答申をお願いしたところであります。農業全般をとりまく情勢と農協組織のあり方を含め、いろいろな展開と議論が各方面で表面化しており、我が農協にとりましては将来に向けての目標・指針は極めて重要であり、年度後半に今後五カ年の農協経営計画策定を合わせ取り進めてまいります。

さて、皆さまにご心配をいただいている南出参事の容体であります。春以降体調が思わしくなく、検査、治療を重ねて回復に努めている所でありますが、農協で長時間勤務するには負担が大きい状況から、参事には当面治療に専念してもらい決断をし、現在、参事代行を乾管理部長に委任し、円滑な業務態勢のなかで執行しております。南出参事には一日も早い全快回復を願っているところであります。

皆さまにおかれましては季節の変わり目、体調をくずされないうようにご留意を願います。

最後に今年も残り三カ月程になり一年の締めも近づいてまいります。個々の経営の検証と、課題・反省も含め次年度への弾みがつきます事を願うと共に、農協事業推進になお一層のご支援、ご協力をいただきますよう、今後ともお力添えをよろしくお願い申し上げます。

演芸に知床太鼓と祭り気分の一日。

●開陽神社祭 青年部俣落支部 桜井 寿治



九月十四、十五日、農協青年部開陽支部では、毎年恒例の開陽神社祭が行われ、祭り会場の準備の他、宵宮祭の出店のお手伝いをいたしました。

十四日の午前中から行われた準備では、日射しも強い快晴で、作業も順調に進みましたが、昼頃より雷雨に見舞われ、部員一同びしょぬれになってテントに幕を張りました。



今年の神社祭は、社殿ならびに演芸舞台が新しくなった事を記念して、演芸の夕べでは知床太鼓の皆さんが太鼓を披露してくれました。その他、部員の中にもひそかにメンバーに入っている「開陽ダンディーズ」、今年はやさしいソーランを披露。山下君と吾妻君はバンド仲間を率いてライブを披露してくれました。

翌日、十五日の本祭りでは、午前中より恒例の御興行列が行われ、午後からは地区別対抗のソフトボール大会が行われる予定でしたが、またしても雷雨に見舞われ、急遽、体育館でミニバレー大会になってしまいました。

焼き鳥の塩加減が絶妙？

●俣落拓北神社祭

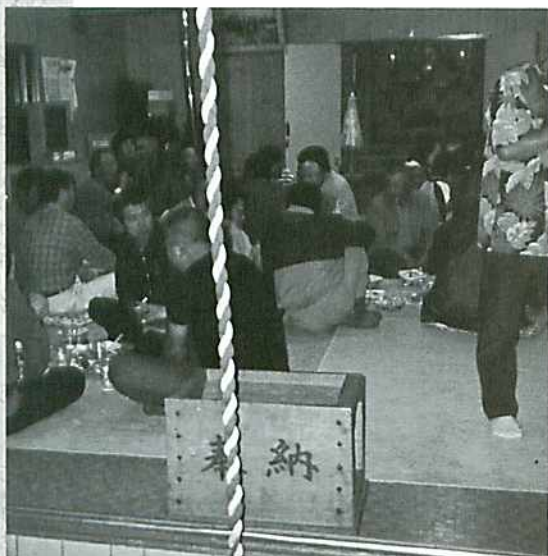
青年部俣落支部 峰松 宏樹



れたのは、地域の強いつながりを感じました。

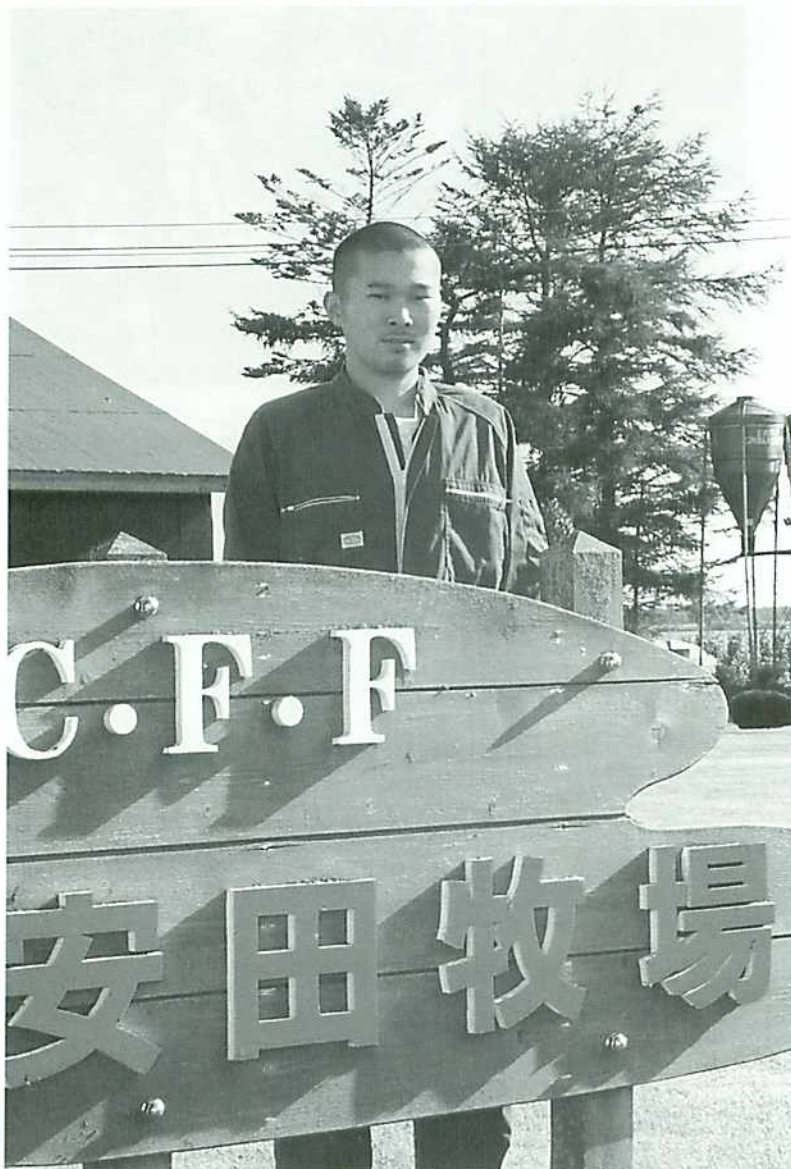
いや、降っちゃいました。雨が。俣落拓北神社祭りは九月十五日の子供相撲が終わり、スポーツ大会の準備中、大雨になってしまい、スポーツ大会は九月二十九日に延期となりました。

九月十四日の宵祭りは晴天でした。今年は新しい趣向として焼き鳥をやりましたが、上ヶ島さんの塩加減と、(へときわ)の娘さんを嫁に持つ遠藤洋志君の焼き加減が絶妙で大好評でした。晴天で暖かい晚だったこともありましたが、例年以上に多くの方々に参加していただきました。特に俣落中学校を卒業したばかりの高校生や、働きだしたばかりのOB、OGが集まってく



知識・技術のレベルアップを と頑張っています。

当幌地区 安田 正嗣さん(23歳)



青年部調査・広報委員会 筒井 辰也



今回ご紹介する安田正嗣さんは、今年四月より青年部当幌支部に加入したニューフェイスです。

まず、簡単にプロフィールをご紹介します。

生年月日 昭和五十四年二月二十四日生まれ うお座

血液型 A

家族構成 祖父母、両親、姉二人(三人兄弟の末っ子)

趣味 最近始めたゴルフ、映画を見ること、サッカー

1、ギター(忙しくてなかなかできないのですが…)

現在、牧場では約百六十頭の乳牛を飼養。中標津農協内ではトップクラスの乳質、環境です。

正嗣君は中標津小、中学校、とわの森三愛高校を卒業、酪農学園獣医学科に入学。しかし、中退(理由は本人に聞いてください…)。その後、車関係の仕事を二年間勤め、今年三月に帰省し家業に就き、家族三人で働いています。

青年部に入った動機を聞くと、「地域を知るため」と。しかし、今は「当幌地区には年下がいなくて寂しい…」と答えてくれました。

将来の目標は?との問いに「牛は好きですが、忙しい経営はせず、中味を充実させ、ゆとりのある経営をしたい」と話してくれました。先日行われた「担い手創出協議会」にも加入し、さらに知識と技術のレベルアップを図ろうと頑張っています。



異業種とのネットワークを広げ 酪農経営に新たな発想をとり入れる。

中標津町農協担い手創出 協議会研修開講式



9月24日(火)午前10時30分より寿宴におきまして、中標津町農協担い手創出協議会研修開講式（JA中標津ルーキーズ・カレッジ開講式）が開かれました。

出席いただいたご来賓は、(社)北海道地域農業研究所常務理事の黒澤不二男氏、根釧農業試験場場長・水島俊一氏、中標津町助役・下村陽一氏、中標津町農業委員会会長・藤原勝一氏、北根室農業改良普及センター、中標津町農林課、(有)ファム・エイの方々です。

午前10時半より三十分間、担い手創出協議会会長の高橋組合長による開講挨拶、根釧農業試験場場長・水島俊一氏および中標津町助役・下村陽一氏による来賓激励挨拶が行われ、続いて午前11時より(社)北海道地域農業研究所常務理事の黒澤不二男氏による基調講演「北海道農業の回生は酪農・酪農村から」が午後12時まで一時間行われました。基調講演には、中標津町農協青年部の方々もご聴講下さいました。

講演内容としては、平成十二年統計調査や平成十一年道農政部農業意識アンケート調査を利用した内容で、統計より酪農は他の作日よりも好調である理由を農業生産額、粗生産額構成比の推移の数字から説明し、農業所得が他よりも高く、構成比でも北海道農業の三割を占めていること、その中で中標津酪農はアンケート調査からみて、後継者のいる割合が四割近くおり、規模拡大意欲も強いことなど、北海道全体と比較して、経営や意識が良い方向に上回っていると説明されました。講演最後には、研修生に対してのメッセージとして、「友人など外とのネットワークを活かした、新たな発想を経営に取り入れて、未来の酪農の発展を期待する」との激励をいただき、研修生など出席者に元気を持たせてくれる講演となりました。

講演会には、出席者により午後一時三十分まで会食が開かれ、北根室農業改良普及センター次長・加藤公夫氏による乾杯、研修受講者による自己紹介が行われ、担い手創出協議会副会長・藤井美智夫氏の挨拶により開講式が終了しました。

座学研修は本年度来月十月二日(水)より一月二十九日まで毎週水曜日に行われ、研修が開始される予定です。

共計でん粉8月末販売状況

平成13年産共計でん粉は、8月末仮配累計1袋当たり2,198円（前年産同期2,104円）となっています。販売進捗率は85.7%で前年を下回りますが、販売量としては前年より16,500^{kg}多く販売されています。

でん粉市況

単位:円/袋(25kg)

馬鈴しょでん粉 (産地倉渡し)	2,125(2,125)~3,125(3,125)
馬鈴しょでん粉 (東京倉渡し)	2,325(2,325)~3,450(3,450)
輸入化工でん粉 (東京倉渡し)	1,750 ~1,875
コーンスターチ	1,740(1,740)~

()は前年同期

知恵袋

農作業事故ゼロを目指そう

反射板を付けて危険回避

北根室地区農業改良普及センター



図1 (北海道農作業安全運動推進本部調べ)

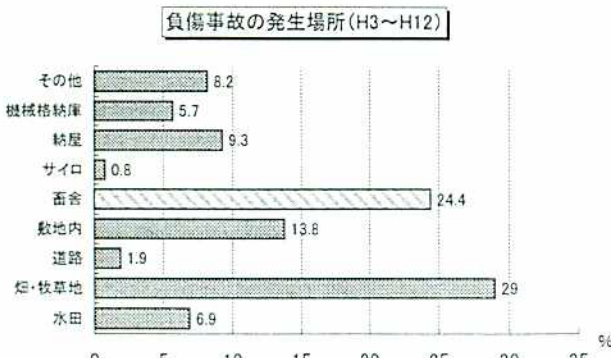
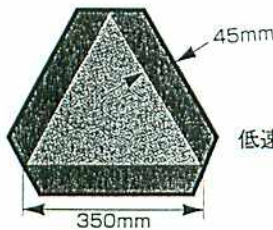


図2 (北海道農作業安全運動推進本部調べ)



低速車表示農機用後部反射マーク
国際標準仕様35×45cm

表1 根室管内の農作業事故

(H12年)

市町村名	死亡		負傷		計	機械事故		その他事故	計
	男	女	男	女		トラクター	その他機械		
根室市			11	6	17	4	2	11	17
別海町	1		17	23	41	4	4	33	41
中標津町			8	4	12		2	10	12
標津町			6	8	14	2	4	8	14
計	1		42	41	84	10	12	62	84

(北海道農作業安全運動推進本部調べ)

一、追突事故を防ごう

日没が早くなりました。夕方から夜間に発生しやすい追突を防ぐため、トラクターには反射板(低速車表示農機用反射マーク)を付けましょう。農作業機は他の車に比べて速度が遅いこと、道路照明が不十分な道を走ることが多いことなどから、車両の大きさが分かりにくかったり、後方からの発見が遅れ、追突事故になりかねません。反射板は、農作業機の存在を一刻も早く知ってもらうための予防安全具です。

二、反射板は同じ規格のものを

「北海道農作業安全運動推進本部」は、今春、「低速車マーク装着のガイドライン」を作りました。低速車マークはいくつか種類があります。装着試験をした結果、下図の大きさのもので、ホルトで固定するものが望ましいとされています。このマークは各農協の資材店舗や、根室機械センター(中標津町)で取り扱っています。一枚三千六百円程度です。

三、事故は少なくても油断大敵

平成十三年度の農作業事故発生件数(全道・死亡)は、図一の通りです。根室管内の農作業による死亡事故は少ないのですが、負傷事故は過去

十年(平成三十二年)の発生状況を見ますと年平均七十三件です。平成十二年の根室管内の事故をまとめたものが表一です。負傷事故(全道・平成三十二年)を、発生場所別に表したのが図二です。畜舎内の事故が目立ちます。搾乳中や牛の移動時に、手指や足にケガをしている例が多く報告されています。慣れている作業でも油断せず、安全作業を心がけてください。(来月は負傷事故を詳しく報告します)

第七回理事会の経過

開催日時 平成十四年九月十七日

〈決議事項〉

- 一、平成十四年六月末定例自治監査の結果について
- 二、国債等窓口販売業務取扱いにかかる業務内容方法書（国債証券等の窓口販売業務）の制定について
- 三、国債等窓口販売業務の取扱いに係る認可申請について
- 四、平成十四年度でん原馬鈴しょ出荷計画（案）並びにでん粉の仮渡金額の設定について
- 五、でん原馬鈴しょ出荷に係る運搬助成金について
- 六、平成十四年乳質改善対策について
- 七、乳質改善資金貸付期限並びに利率の変更について

八、乳質改善向上資金の創設について

九、「中標津町農協家畜伝染病淘汰

互助会制度要領」の変更について

〈報告事項〉

一、宇都宮賞の推薦について

〈報告事項〉

一、組合長会海外視察研修について

二、第五期生乳安定生産対策の検討について

三、平成十四年度中標津町農協乳質改善共励会の実施について

四、馬鈴しょ・ビート・大根の作付状況について

五、大根の出荷状況並びに馬鈴しょ坪掘結果について

六、生乳生産状況並びに乳質の状況について

七、中央会監査について

八、第五次地域農業振興計画策定審議会委員の選任について

九、根室管内JA営農部課長会議の視察研修について

十、全道共進会の結果について

十一、南出参事の状況について



9月の組合日誌

- 2日 巡回ドック～4日
道営担い手草地整備事業説明会
乳牛改良同志会役員会
- 3日 道営担い手草地整備事業聞き取り
課税対策委員会
- 4日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 5日 乳質改善セミナー
- 6日 生食加工全体会議
- 9日 酪農課土地利用型聞き取り調査
女性部フレッシュミズ勉強会
- 13日 担い手創出協議会幹事会
- 17日 第7回理事会
- 18日 牛舎監視システム検討会
家畜改良課打ち合わせ
- 19日 リフレッシュ資金調査
第4回青年部調査広報委員会
- 20日 女性部役員会
第7回青年部役員会
- 24日 女性部役員・支部長会議
食品加工交流部会・女性部合同役員会
- 25日 地域農業振興計画策定委員会
- 30日 N S H利用組合2番草精算会議

3カ月予報

向こう三カ月の天候

三カ月平均気温は、平年並の可能性が大きく、その確率は五〇割です。

可能性の大きな天候の見通し

十月

天気は周期的に変わりますが、一時寒気が流れ込み、日本海側ではしぐれる時期があるでしょう。

気温は低い見込みです。

十一月

平年と同様に、日本海側では雪や雨の日が多く、太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

気温は平年並の見込みです。

十二月

平年と同様に、日本海側では雪の日が多く、太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

気温は平年並の見込みです。

三カ月間降水量は平年並でしょう。

懐しき古き一枚の写真



若かりし頃の写真提供者・川村清身さんです。
今から39年程前の昭和38年頃に撮影しました。あの頃は飼育している牛の頭数も少なかったので、ご覧のように一頭ずつ外に出しては、ちょうど搾る下に集乳缶を置いて、台に座って手搾りで搾乳しました。一見のどかに見えますが、これがけっこうきつい作業でしたね。集乳缶は近くの集乳所へ持っていきました。当時はほとんどが手作業で、今とは比べようがなく、時代の流れの速さを感じさせる一枚の写真です。

写真提供 川村清身氏